

走行チェックシート

日付	2013年11月3日 (日)		時間	11:00 ~		イベント	2013MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ最終戦RACE1		
天気	曇り		マシン	GSX-R1000 L3		ライダー	今野由寛		
コース	名称	鈴鹿サーキット				気温	18 °C		
	コンディション	ドライ				気圧	1021 hpa		
	路面温度	20		(計測時間 11:00)		湿度	60 %		
エンジン	スパークプラグ	NGK R0373A-10		エンジンOIL	シェルアドバンス ウルトラ10W-40				
	ファイナルレシオ	16 x 42(2.62)							
トランスミッション	1st	B(35/16)	2.18	4th	B(31/21)	1.48			
	2nd	B(34/18)	1.89	5th	B(21/28)	1.33			
	3rd	B(36/22)	1.64	6th	C(25/32)	1.28			
フロント	パーツ名	SHOWA(760mm)		TEN	-10				
	スプリング	10.00	N/m	OIL	SR6 #5				
	自由長	-	mm	油面	195		mm		
	イニシャル	12	mm	残ストローク	mm				
	COMP	-10		突き出し	STDトップブリッジで0mm突き出し mm				
リア	パーツ名	SHOWA(321.5mm)		TEN	-15				
	スプリング	110.0	N/m	残ストローク	mm				
	自由長	-	mm	リンク	SPL				
	イニシャル	10	mm	リンクロッド	- mm				
	COMP(HI)	MIN		車高	STD+27mm ピボット-2mm スイング長599mm mm				
	COMP(LO)	-10							
タイヤ	フロント			リア					
	銘柄	ダンロップ		銘柄	ダンロップ				
	サイズ	125/80/R420		サイズ	210/60R420				
	エア圧	2.1		エア圧	1.5				
チェック	順位	11 位		ベストラップ	2' 08.922				
	水温	°C		油温	°C				
	ガソリン	IN	-	ℓ	走行距離	km			
		OUT	-	ℓ	燃費	km/ℓ			

<コメント>

皆様お待たせいたしました。最終戦のレポートをお届けいたします。
 早いものでもう最終戦！あつという間でした。
 今回は今野選手と寺本選手の二台体制で参戦することになりました。
 応援していただいた皆様のご協力があって実現することが出来ました。この場をかりてお礼申し上げます。
 さて今回は今野選手のマシンセットですが、基本ベースは鈴鹿8耐と同じです。
 初日、タイヤの確認をしつつ車体姿勢はF・R共に高くしていく方向になりました。
 まずロガーで前後のストローク量を確認して、フロントのバネレートをワンランク下げ、コメントを聞きながらリアのレートは上げていく方向です。
 今野選手はリアのバネレートは高めの方が車体の動きが分かりやすくスライドコントロールもしやすいようです。
 今回は事前テストが無かったこともあり、レースウィークの走行日が一日追加されました。
 今野選手は徐々にタイムを伸ばしていき予選では自己ベスト更新の2' 08" 922で11番手グリッドを獲得
 明けて決勝RACE1では好スタートから一時は9位を走行するも徐々にタイヤがタレてしまい出口選手に抜かれ10位時点で赤旗成立。
 RACE2では少し柔らかめのコンパウンドをチョイス。思うようにペースが上がリませんでしたが、終盤まで続いた9位争いを制して9位でチェッカー。
 決勝日はあまり路面温度が上がらずにタイヤ選択が難しいレースでした。もう少し路面温度が上がっていただければと思わずにはいられません。
 今年も無事にレーススケジュールを終えることが出来ました。
 最後に今年協賛していただいたスポンサー各社様へお礼申し上げます。
 また応援していただいたファンの皆様、関係者様ありがとうございました。

レーシングサプライ
 畑中 健太郎

走行チェックシート

日付	2013年11月3日 (日)		時間	15:00 ~		イベント	2013MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ最終戦RACE2		
天気	曇り		マシン	GSX-R1000 L3		ライダー	今野由寛		
コース	名称	鈴鹿サーキット			気温	20 °C			
	コンディション	ドライ			気圧	1021 hpa			
	路面温度	22		(計測時間 15:00)	湿度	57 %			
エンジン	スパークプラグ	NGK R0373A-10		エンジンOIL	シェルアドバンス ウルトラ10W-40				
	ファイナルレシオ	16 x 42(2.62)							
トランスミッション	1st	B(35/16)	2.18	4th	B(31/21)	1.48			
	2nd	B(34/18)	1.89	5th	B(21/28)	1.33			
	3rd	B(36/22)	1.64	6th	C(25/32)	1.28			
フロント	パーツ名	SHOWA(760mm)		TEN	-10				
	スプリング	10.00	N/m	OIL	SR6 #5				
	自由長	-	mm	油面	195		mm		
	イニシャル	12	mm	残ストローク	mm				
	COMP	-10		突き出し	STDトップブリッジで0mm突き出し mm				
リア	パーツ名	SHOWA(321.5mm)		TEN	-15				
	スプリング	110.0	N/m	残ストローク	mm				
	自由長	-	mm	リンク	SPL				
	イニシャル	10	mm	リンクロッド	- mm				
	COMP(HI)	MIN		車高	STD+27mm ピボット-2mm スイング長599mm mm				
	COMP(LO)	-10							
タイヤ	フロント			リア					
	銘柄	ダンロップ		銘柄	ダンロップ				
	サイズ	125/80/R420		サイズ	210/60R420				
	エア圧	2.1		エア圧	1.5				
チェック	順位	9 位		ベストラップ	2' 08.922				
	水温	°C		油温	°C				
	ガソリン	IN	-	ℓ	走行距離	km			
		OUT	-	ℓ	燃費	km/ℓ			

<コメント>

レーシングサプライ
畑中 健太郎

走行チェックシート

日付	2013年11月3日 (日)		時間	11:00 ~		イベント	2013MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ最終戦RACE1		
天気	曇り		マシン	GSX-R1000 L3		ライダー	寺本幸司		
コース	名称	鈴鹿サーキット			気温	18 °C			
	コンディション	ドライ			気圧	1021 hpa			
	路面温度	20		(計測時間 11:00)	湿度	60 %			
エンジン	スパークプラグ	NGK R0373A-10		エンジンOIL	シェルアドバンス ウルトラ10W-40				
	ファイナルレシオ	16 × 42(2. 62)							
トランスミッション	1st	B(35/16)	2.18	4th	B(31/21)	1.48			
	2nd	B(34/18)	1.89	5th	B(21/28)	1.33			
	3rd	B(36/22)	1.64	6th	C(25/32)	1.28			
フロント	パーツ名	SHOWA(760mm)		TEN	-10				
	スプリング	10.00	N/m	OIL	SR6 #5				
	自由長	-	mm	油面	195		mm		
	イニシャル	12	mm	残ストローク	mm				
	COMP	-10		突き出し	STDトップブリッジで0mm突き出し mm				
リア	パーツ名	SHOWA(321.5mm)		TEN	-15				
	スプリング	110.0	N/m	残ストローク	mm				
	自由長	-	mm	リンク	SPL				
	イニシャル	10	mm	リンクロッド	- mm				
	COMP(HI)	MIN		車高	STD+27mm ピボット-2mm スイング長599mm mm				
	COMP(LO)	-10							
タイヤ	フロント			リア					
	銘柄	ダンロップ		銘柄	ダンロップ				
	サイズ	125/80/R420		サイズ	210/60R420				
	エア圧	2.1		エア圧	1.5				
チェック	順位	13 位		ベストラップ	2' 09. 821				
	水温	°C		油温	°C				
	ガソリン	IN	-	ℓ	走行距離	km			
		OUT	-	ℓ	燃費	km/ℓ			

<コメント>

皆様お待たせいたしました。

最終戦レポートです。

今回は二台体制でのエントリーになりました。こちらは寺本選手のマシンについて書いていこうと思います。

寺本選手の仕様は前回岡山レースで変更したフロントフォーク仕様で、車体は鈴鹿8耐と同じにしてスタートしました。

寺本選手も今野選手と同様車体を高くしていく方向です。さらに両方とも8耐よりもリヤバネレートが上がっていきます。

寺本選手は走行ごとにタイムを上げていき練習走行では2' 09" 821のタイムを出し自己ベストタイムを更新しました。

しかし柔らかめのNEWタイヤを投入してタイムアタックをしている最中に転倒してしまいました。

明けて予選ですがマシンの確認からスタート。転倒をしてしまうとマシンセットも進まず前回のセッションのセットからのやり直しになります。

特に少ない走行時間では、タイムアップ、セッティングを詰めるという意味では転倒は非常にリスクが大きいと思います。

予選中は赤旗中止になったりして思うようにタイムを出せないまま終了。結果14番手グリッドを獲得

RACE1は1周目に12位に順位を上げましたが徐々にタイヤがタレてきてしまい13位でチェッカー。

RACE2少し柔らかめのタイヤで勝負することに。スタートが決まり9位で通過、しかし10周目くらいからタイヤが終わってしまい

ペースを落とさざるをえませんでした。結果11位でゴール。

これで今年のレースは終了です。寺本選手は転倒もありましたが、アウトラップの速さや、走行毎に自己ベストタイムを更新したりするなど

常に前向きな姿勢を崩さない刺激的なライダーでした。

今回のレースに参戦するにあたりご協力いただいた各社様、ファンの皆様にお礼申し上げます。

ありがとうございました。

レーシングサプライ

畑中 健太郎

走行チェックシート

日付	2013年11月3日 (日)		時間	15:00 ~		イベント	2013MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ最終戦RACE2		
天気	曇り		マシン	GSX-R1000 L3		ライダー	寺本幸司		
コース	名称	鈴鹿サーキット			気温	20 °C			
	コンディション	ドライ			気圧	1021 hpa			
	路面温度	22		(計測時間 15:00)	湿度	57 %			
エンジン	スパークプラグ	NGK R0373A-10		エンジンOIL	シェルアドバンス ウルトラ10W-40				
	ファイナルレシオ	16 x 42(2.62)							
トランスミッション	1st	B(35/16)	2.18	4th	B(31/21)	1.48			
	2nd	B(34/18)	1.89	5th	B(21/28)	1.33			
	3rd	B(36/22)	1.64	6th	C(25/32)	1.28			
フロント	パーツ名	SHOWA(760mm)		TEN	-14				
	スプリング	10.25	N/m	OIL	SR6 #5				
	自由長	-	mm	油面	195		mm		
	イニシャル	14	mm	残ストローク	mm				
	COMP	-10		突き出し	STDトップブリッジで0mm突き出し mm				
リア	パーツ名	SHOWA(321.5mm)		TEN	-15				
	スプリング	105.0	N/m	残ストローク	mm				
	自由長	-	mm	リンク	SPL				
	イニシャル	12	mm	リンクロッド	- mm				
	COMP(HI)	MIN		車高	STD+27mm ピボット-2mm スイング長599mm mm				
	COMP(LO)	-10							
タイヤ	フロント			リア					
	銘柄	ダンロップ		銘柄	ダンロップ				
	サイズ	125/80/R420		サイズ	210/60R420				
	エア圧	2.1		エア圧	1.5				
チェック	順位	9 位		ベストラップ	2'09.821				
	水温	°C		油温	°C				
	ガソリン	IN	-	ℓ	走行距離	km			
		OUT	-	ℓ	燃費	km/ℓ			

<コメント>

レーシングサプライ
畑中 健太郎